

## 令和5年度研究主題

一人一人の学びを高め つながりをお大切にする 新しい時代の放送・情報教育を追求しよう

### 1. 研究主題設定にあたって

わたしたちは、本年度研究主題の設定にあたって、次のような点を考慮した。

○本県のこれまでの放送教育についての研究の成果や理念を継承しながら、発展させるという立場を堅持する。

○全国放送教育研究会連盟の令和4年度研究テーマである「豊かな心の育成と深い学びの実現に向けた放送教育～さまざまな視聴環境のもとでの学びの創造～」を考慮し、本県としての研究主題を設定する。

○徳島県小学校教育研究会情報教育部会の令和5年度研究主題「未来を切り拓く情報活用能力の育成を目指した教育活動の推進－1人1台端末環境における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実－」を考慮し、情報教育の研究との相乗的な深化を図る。

### 2. 研究主題の解説

社会の変化は極めて激しく、特に、情報通信技術の発達にはめざましいものがある。人工知能（AI）、ビッグデータ、Internet of Things（IoT）、ロボティクス等の先端技術が急激に進化し、それらがあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつある。学校においても、GIGA スクール構想により1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク環境、WEB 会議システムなどが整備され、これらを日常的に活用することで、学校放送番組が学習にもたらす効果はさらに高まるだろうと考えられる。機器や様々なメディアをいかに効果的に活用し「生きる力」を育んでいくかを模索していく必要がある。

現行学習指導要領では、これまでの「生きる力」を育むという理念を引き継ぎ、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うこととされている。

わたしたちは、ここ 20 年余り「主体的に生きる力」というキーワードで研究を進めてきた。先進的に研究・実践を進めてきた中で言えることは、学校放送番組を視聴した子どもたちは、それまでの経験や知識をもとに自分なりに主体的に視聴しているという事実である。そして、学校放送番組のおもしろさや豊かな内容に興味・関心をもちながら視聴していくうちに、番組のテーマに気付くことができる。さらに、他者と感想や意見を共有する中で思考を具体化し、思考を広げ深めながら番組のテーマに対する自分の考えや次の活動への意欲を高めていく。このような本会が長年重要視してきた学びの姿は、現行学習指導要領が求めている学びの姿に近いといえる。

本会は、「放送による学習」（放送番組を活用した学習）の中で、一人一人の学びをお大切にしてきた。放送学習（放送番組視聴中の学び）においても、発展学習（放送番組視聴後の学び）においても、一人一人がこれまで獲得してきた知識・感性・体験などをもとに気付いたことや考えたことが、一人一人の中でどのように発展し、どのような学びを獲得していくかに注目しながら、指導方法を工夫してきた。ICT を効果的に活用し、発展学習を充実してきた。GIGA スクール構想の実現が進みつつある昨今にお

いては、1人1台端末環境を活用し一人一人の学びをどのように高めていくかが課題となる。

また、発展学習を豊かなものとするためには、「つながり」のある学習活動が不可欠である。学びは一人の中でのみ完結するものではない。放送学習での思いや考えを学級での対話的な活動によって高めたり、他の学級や他校、地域の人との交流によって幅広い知識や奥深い考えを獲得したりすることで、新たな学びへとつながっていく。これについても、ICTの活用が効果的であることは、これまでの研究で実証されている。今後も、実社会での交流活動を充実させることはもちろんのこと、GIGAスクール構想の実現によるICTを活用した交流の効果にも期待したい。

このような「新しい時代の放送教育」を求めていく中で、機器やシステムが今後どのように進化しようとも、それぞれの特性が十分に研究され、生かされる形で展開されなければ、新しい時代の放送教育を進めることはできない。わたしたちは、様々な機器やシステム、放送番組の教育的特性を理解し、それらを複合的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図った授業改善を行うことにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、子ども一人一人の学びの質を高める。そして、他者と積極的に協働することで自分たちの学びをさらに高め、未来を切り拓いていく情報活用能力をもった子どもたちを育てていく。